

TRANCOMグループ 決算説明会

2020年3月期 第2四半期

証券コード：9058

TRANCOM株式会社

2019.10.25

目次

1	2020年3月期 上半期業績	P.3
2	2020年3月期 通期見通し	P.14
3	財政状況及び還元方針	P.17
4	次期中期計画に向けて事業の方向性	P.20

1	2020年3月期 上半期業績	P.3
2	2020年3月期 通期見通し	P.14
3	財政状況及び還元方針	P.17
4	次期中期計画に向けて事業の方向性	P.20

Topics 輸配送サービスの拡大

- ① パレット回収事業を開始
- ② 自動車部品の幹線輸送事業の拡大

Topics 新たなサービスの展開

- ① ASEAN地区のハブであるシンガポールへ進出 
 - » ASEAN地区への展開を視野に、シンガポールでビルクリーニング事業を行っている企業 Sergent Services Pte Ltdの株式取得
- ② MONETコンソーシアムへの参画

Topics 3 PL事業の盤石な事業基盤の再構築

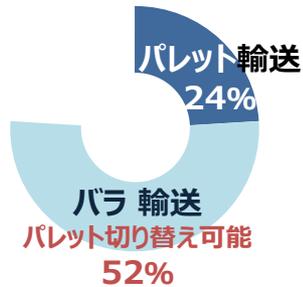
- ① LM事業において会社分割を実行し、エリア強化
 - » 東・中・西日本エリア毎に分割、スピード感を持って事業環境変化に柔軟に対応
圧倒的な現場力を実現し、地域No.1の事業会社へ

Topics 輸配送サービスの拡大

① パレット回収事業

パレット化の現状

総輸送量に対するパレット輸送比率



バラ積み輸送される理由

順位	理由
1	空パレットの回収管理の問題
2	取引単位がパレットに満たない
3	積載効率低下、輸送費の増加
4	包装形態がパレットに合わない
5	パレットを外部に出すと紛失・破損が起こる

出典：JILS

生産パレット枚数推移



出典：日本パレット協会

レンタルパレット保有枚数と構成比

単位：百万枚

	2009		2018		差異	
	枚数	構成比	枚数	構成比	枚数	構成比
総計	16.9		22.9		6.0	
プラスチック	8.7	51.5%	15.3	66.8%	6.6	15.3
木	7.5	44.4%	6.7	29.3%	-0.8	15.1
その他	0.7	4.1%	0.9	3.9%	0.2	0.3

出典：日本パレット協会

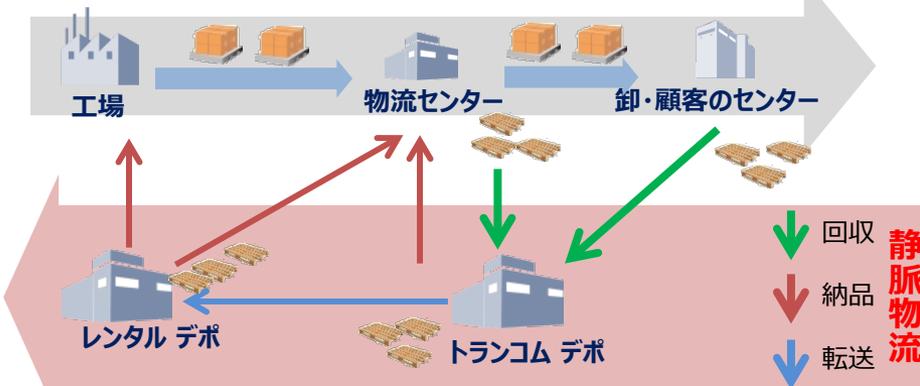
バラ輸送からパレット輸送への切り替え可能 52%

世の中のパレット総枚数は5億枚と
言われている

※算出根拠
総枚数 = パレット生産枚数/年 × 耐用年数 (7年)

プラスチックパレット
需要が増加
構成比 約70%へ

TRANCOMのパレット回収サービスとは・・・



求貨求車を活かし 物流効率化・労働環境の改善に貢献



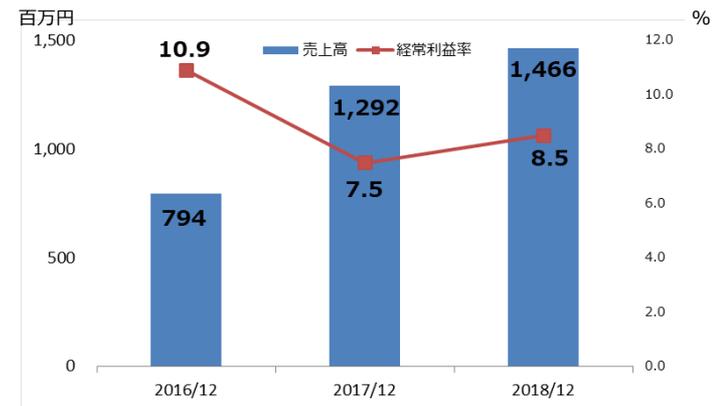
Topics 新たなサービスの展開

① ASEAN地区のハブであるシンガポールへ進出

Sergent Services Pte Ltd 会社概要

商号	Sergent Services Pte Ltd
設立年月日	1998年5月14日
資本金	162百万円
従業員数	530名
事業内容	ビルクリーニングサービス事業

売上高・経常利益率 推移



特徴 顧客は、チャンギ国際空港、地下鉄駅、大型商業施設等

特徴 清掃事業ライセンス L6 取得

BCAライセンス L6 (最高ランク) を取得
L6 取得企業は全体412社のうちで22社

特徴 業界での影響力/ 3者評議会の代表

2020年3月期 上半期業績



前期比

全セグメントにおいて営業面の強化とコスト低減により
前年対比 増収増益

計画比

売上高・営業利益ともに、全セグメントにおいて計画達成

(単位：百万円)

	2019年3月期			2020年3月期				計画			
	第1四半期	第2四半期	上半期累計	第1四半期	前期比	第2四半期	前期比	上半期累計	前期比	上半期計画	計画比
売上高	36,881	36,463	73,345	39,240	6.4%	40,977	12.4%	80,217	9.4%	76,690	4.6%
営業利益	1,498	1,485	2,983	1,678	12.0%	1,994	34.3%	3,672	23.1%	3,080	19.2%
(売上高比)	(4.1%)	(4.1%)	(4.1%)	(4.3%)	(+0.2P)	(4.9%)	(+0.8P)	(4.6%)	(+0.5P)	(4.0%)	(+0.6P)
経常利益	1,494	1,484	2,978	1,671	11.9%	1,958	31.9%	3,630	21.9%	3,050	19.0%
(売上高比)	(4.1%)	(4.1%)	(4.1%)	(4.3%)	(+0.2P)	(4.8%)	(+0.7P)	(4.5%)	(+0.4P)	(4.0%)	(+0.5P)
親会社株主に帰属する当期純利益	968	1,033	2,001	1,041	7.5%	1,321	27.8%	2,362	18.0%	2,010	17.5%
(売上高比)	(2.6%)	(2.8%)	(2.7%)	(2.7%)	(+0.1P)	(3.2%)	(+0.4P)	(2.9%)	(+0.2P)	(2.6%)	(+0.3P)

事業セグメント別業績



(単位：百万円)

		2019年3月期			2020年3月期						計画	
		第1四半期	第2四半期	上半期累計	第1四半期	前期比	第2四半期	前期比	上半期累計	前期比	上半期計画	計画比
ロジスティクス マネジメント事業	売上高	12,336	12,557	24,893	13,213	7.1%	13,775	9.7%	26,989	8.4%	25,740	4.9%
	営業利益 (売上高比)	713 (5.8%)	621 (4.9%)	1,334 (5.4%)	754 (5.7%)	5.8% (-0.1P)	919 (6.7%)	48.0% (+1.8P)	1,673 (6.2%)	25.5% (+0.8P)	1,390 (5.4%)	20.4% (+0.8P)
物流情報 サービス事業	売上高	20,556	19,936	40,493	22,122	7.6%	23,263	16.7%	45,385	12.1%	43,230	5.0%
	営業利益 (売上高比)	698 (3.4%)	832 (4.2%)	1,530 (3.8%)	719 (3.3%)	3.1% (-0.1P)	886 (3.8%)	6.5% (-0.4P)	1,606 (3.5%)	5.0% (-0.3P)	1,500 (3.5%)	7.1% (+0.0P)
インダストリアル サポート事業	売上高	1,887	1,880	3,767	1,843	-2.3%	1,891	0.6%	3,735	-0.9%	3,480	7.3%
	営業利益 (売上高比)	10 (0.5%)	-13 (-0.7%)	-3 (-0.1%)	78 (4.3%)	686.3% (+3.8P)	100 (5.3%)	- (+6.0P)	178 (4.8%)	- (+4.9P)	70 (2.0%)	155.4% (+2.8P)
その他	売上高	2,408	2,373	4,781	2,433	1.0%	2,426	2.2%	4,859	1.6%	4,840	0.4%
	営業利益 (売上高比)	89 (3.7%)	89 (3.8%)	179 (3.7%)	144 (5.9%)	62.0% (+2.2P)	117 (4.8%)	31.0% (+1.0P)	262 (5.4%)	46.5% (+1.7P)	140 (2.9%)	87.3% (+2.5P)
連結消去	売上高	-306	-283	-590	-372	-	-379	-	-751	-	-600	-
	営業利益 (売上高比)	-12 -	-44 -	-57 -	-19 -	- -	-29 -	- -	-48 -	- -	-20 -	- -
連結合計	売上高	36,881	36,463	73,345	39,240	6.4%	40,977	12.4%	80,217	9.4%	76,690	4.6%
	営業利益 (売上高比)	1,498 (4.1%)	1,485 (4.1%)	2,983 (4.1%)	1,678 (4.3%)	12.0% (+0.2P)	1,994 (4.9%)	34.3% (+0.8P)	3,672 (4.6%)	23.1% (+0.5P)	3,080 (4.0%)	19.2% (+0.6P)

(単位：百万円)

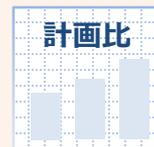
	2019年3月期			2020年3月期				計画			
	第1四半期	第2四半期	上半期累計	第1四半期	前期比	第2四半期	前期比	上半期累計	前期比	上半期計画	計画比
売上高	12,336	12,557	24,893	13,213	7.1%	13,775	9.7%	26,989	8.4%	25,740	4.9%
営業利益 (売上高比)	713 (5.8%)	621 (4.9%)	1,334 (5.4%)	754 (5.7%)	5.8% (-0.1P)	919 (6.7%)	48.0% (+1.8P)	1,673 (6.2%)	25.5% (+0.8P)	1,390 (5.4%)	20.4% (+0.8P)

取り組み

- ✓ 新しい物流分野やIS事業とのシナジーによる新規業務獲得・稼働
 - 日雑・3社販促・自動車部品（3業務4拠点）
- ✓ 既存主要拠点の料金適正化による収益改善
- ✓ 顧客専用センター建築（富山）・業務稼働に向け準備

業績

- ・ 前年稼働拠点の通期寄与および収益化
- ・ 新規立上げ拠点の初期費用の計上
- ・ 既存拠点の物量増
- ・ 料金適正化による収益改善



- ・ 新規立上げ拠点の早期安定稼働
- ・ 物量の増加

(単位: 百万円)

	2019年3月期			2020年3月期				計画			
	第1四半期	第2四半期	上半期累計	第1四半期	前期比	第2四半期	前期比	上半期累計	前期比	上半期計画	計画比
売上高	20,556	19,936	40,493	22,122	7.6%	23,263	16.7%	45,385	12.1%	43,230	5.0%
営業利益 (売上高比)	698 (3.4%)	832 (4.2%)	1,530 (3.8%)	719 (3.3%)	3.1% (-0.1P)	886 (3.8%)	6.5% (-0.4P)	1,606 (3.5%)	5.0% (-0.3P)	1,500 (3.5%)	7.1% (+0.0P)

取り組み

- ✓ 全国38拠点のネットワークへ、カバーエリア拡充
 〈新規〉北海道・北大阪 (19年3月) 名古屋南・北さいたま (19年9月)
- ✓ チャーターセンターでの中ロット貨物の取り扱いを強化
 - オペレーションにおけるICTの活用
 - アドオンプロポーザ
 - Web貨物登録
 - Web空車登録
- ✓ 自動車部品の幹線輸送事業の拡大

業績



2018年度上半期 2019年度上半期
 ・ 成約件数増加 (66万台 → 71万台 前期比 7.3%増)



・ 需給ひっ迫による実収率の低下

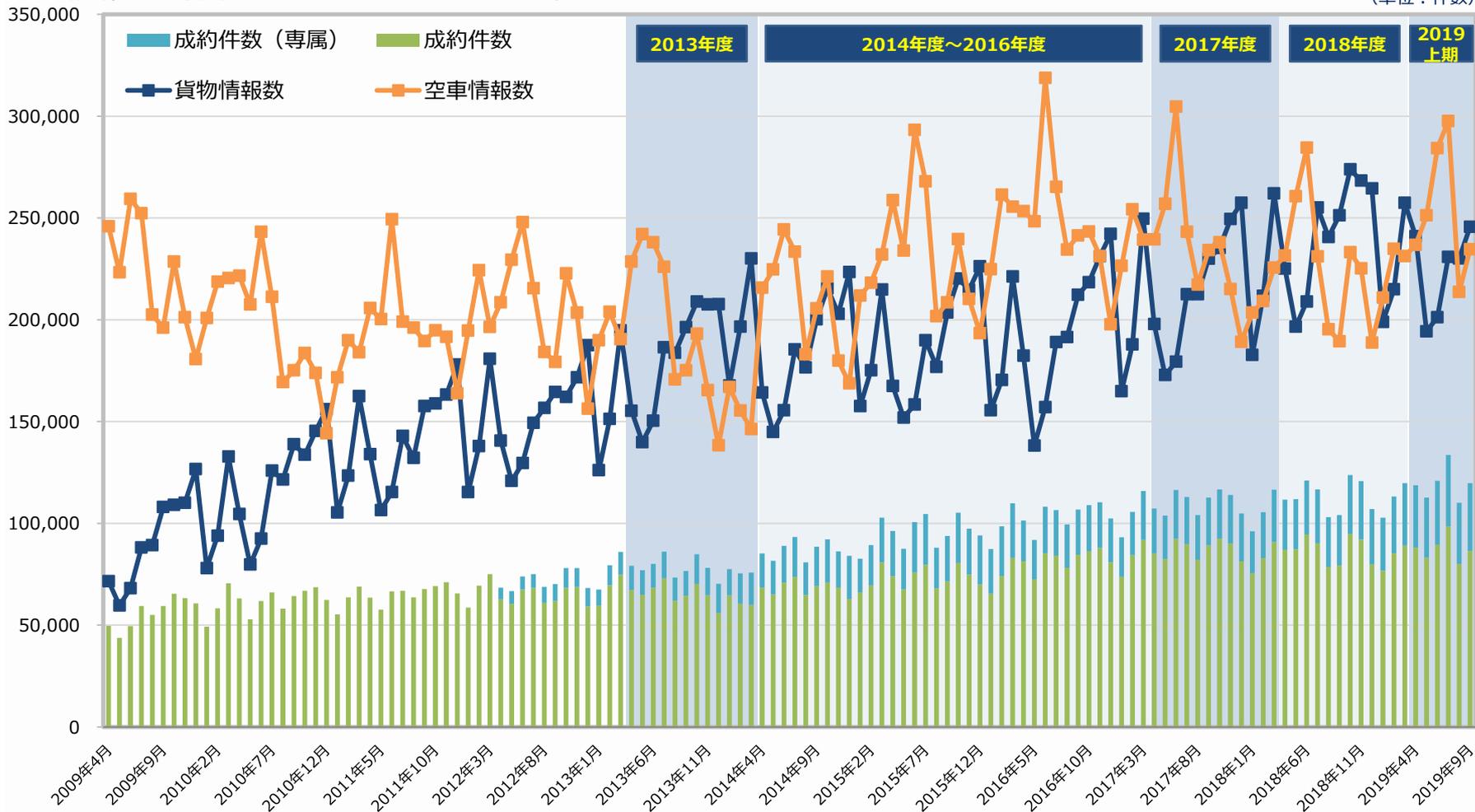
■ 人員数 (生産性人員) 2018年9月末 572名 → 2019年9月末 641名 +69名
 ■ 専属車両台数 2018年9月末 1,372台/日 → 2019年9月末 1,662台/日 +290台/日

物流情報サービス事業



■ 情報数の推移 (2009年4月-2019年9月)

(単位：件数)



貨物情報 1 Q : 前期比 0.9% 2 Q : 前期比 5.4%	空車情報 1 Q : 前期比 0.5% 2 Q : 前期比 21.1%	成約件数 1 Q : 前期比 2.2% 2 Q : 前期比 12.6%
---	--	--

(単位: 百万円)

	2019年3月期			2020年3月期					計画		
	第1四半期	第2四半期	上半期累計	第1四半期	前期比	第2四半期	前期比	上半期累計	前期比	上半期計画	計画比
売上高	1,887	1,880	3,767	1,843	-2.3%	1,891	0.6%	3,735	-0.9%	3,480	7.3%
営業利益 (売上高比)	10 (0.5%)	-13 (-0.7%)	-3 (-0.1%)	78 (4.3%)	686.3% (+3.8P)	100 (5.3%)	- (+6.0P)	178 (4.8%)	- (+4.9P)	70 (2.0%)	155.4% (+2.8P)

取り組み

- ✓ 全取引契約の見直し・交渉・整理による粗利率の改善
- ✓ 既存顧客の別工場・別工程への営業強化

業績

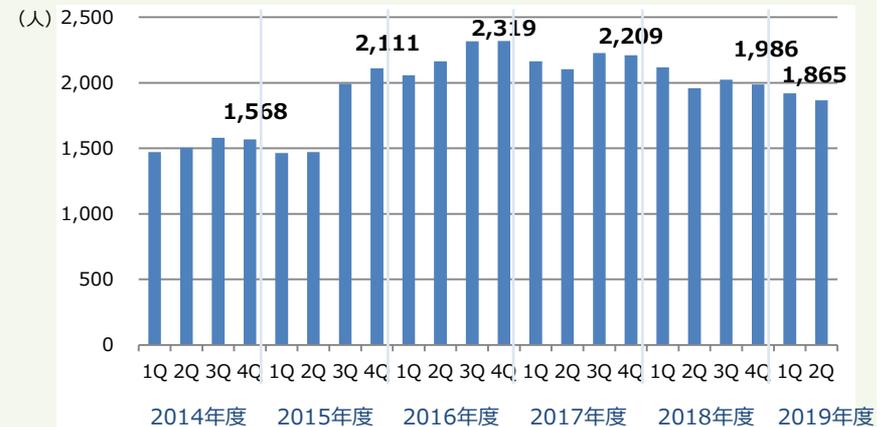


- 顧客の生産減
- 不採算取引の整理



- 顧客毎のコスト管理徹底
- 募集費の一元管理による採用効率化

■ 四半期別稼働人員数推移



その他事業



	2019年3月期			2020年3月期				(単位:百万円)			
	第1四半期	第2四半期	上半期累計	第1四半期	前期比	第2四半期	前期比	上半期累計	前期比	計画	
										上半期計画	計画比
売上高	2,408	2,373	4,781	2,433	1.0%	2,426	2.2%	4,859	1.6%	4,840	0.4%
営業利益 (売上高比)	89 (3.7%)	89 (3.8%)	179 (3.7%)	144 (5.9%)	62.0% (+2.2P)	117 (4.8%)	31.0% (+1.0P)	262 (5.4%)	46.5% (+1.7P)	140 (2.9%)	87.3% (+2.5P)

取り組み

- ✓ (海外) 既存事業の安定運営
新規業務の獲得・実行
- ✓ (システム) ICTをコア事業の武器とすべく、技術の実践・拡大

業績



・ システム開発部門において開発業務が期間内で安定推移



・ 為替の変動 (16.66円/元→15.69円/元)

1	2020年3月期 上半期業績	P.3
2	2020年3月期 通期見通し	P.14
3	財政状況及び還元方針	P.17
4	次期中期計画に向けて事業の方向性	P.20

**<通期> 前年対比 増収増益を計画
全ての利益において
10%以上の増益を見込む**

(単位：百万円)

	2019年3月期	2020年3月期 (予想)	前期比	当初計画	計画比
売上高	151,111	162,600	7.6%	158,850	2.4%
営業利益	6,733	7,700	14.4%	7,270	5.9%
(売上高比)	(4.5%)	(4.7%)	(+0.2P)	(4.6%)	(+0.1P)
経常利益	6,651	7,610	14.4%	7,200	5.7%
(売上高比)	(4.4%)	(4.7%)	(+0.3P)	(4.5%)	(+0.2P)
親会社株主に 帰属する 当期純利益	4,328	5,000	15.5%	4,750	5.3%
(売上高比)	(2.9%)	(3.1%)	(+0.2P)	(3.0%)	(+0.1P)

2020年3月期 通期計画 事業セグメント別



(単位：百万円)

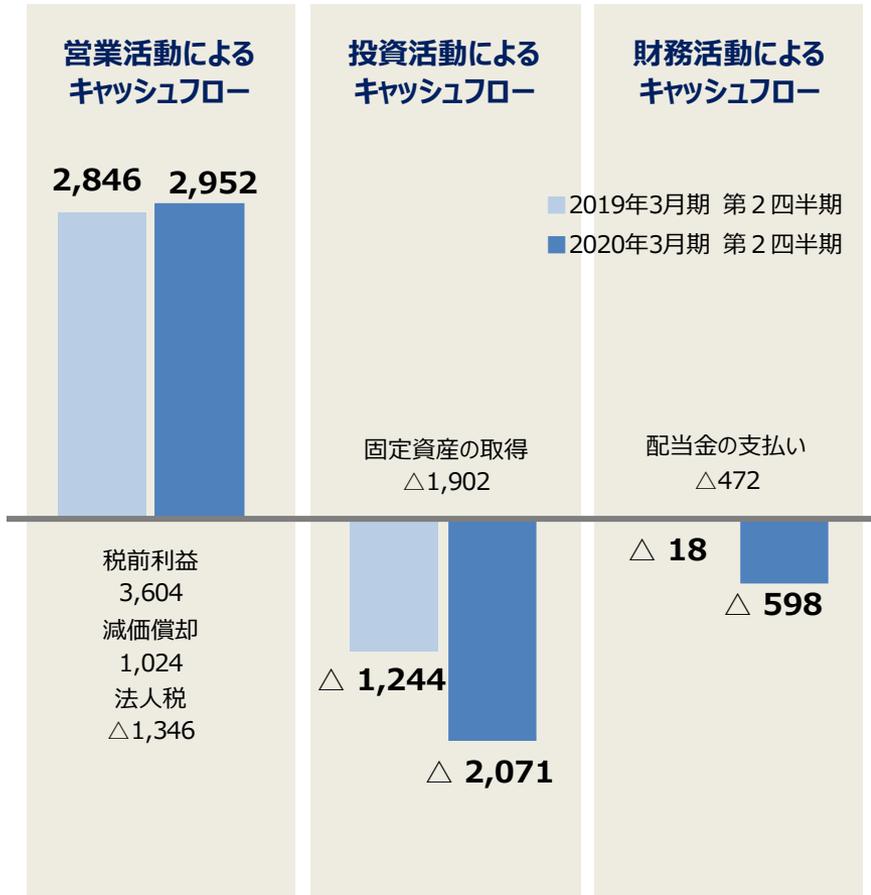
		2019年3月期			2020年3月期 (予想)					
		上半期	下半期	通期	上半期 (実績)	前期比	下半期 (予想)	前期比	通期	前期比
ロジスティクス マネジメント事業	売上高	24,893	26,224	51,118	26,989	8.4%	27,000	3.0%	54,000	5.6%
	営業利益 (売上高比)	1,334 (5.4%)	1,699 (6.5%)	3,033 (5.9%)	1,673 (6.2%)	25.5% (+0.8P)	1,850 (6.9%)	8.9% (+0.4P)	3,500 (6.5%)	15.4% (+0.6P)
物流情報 サービス事業	売上高	40,493	43,257	83,750	45,385	12.1%	47,200	9.1%	92,600	10.6%
	営業利益 (売上高比)	1,530 (3.8%)	1,781 (4.1%)	3,312 (4.0%)	1,606 (3.5%)	5.0% (-0.3P)	1,900 (4.0%)	6.7% (-0.1P)	3,500 (3.8%)	5.7% (-0.2P)
インダストリアル サポート事業	売上高	3,767	3,920	7,687	3,735	-0.9%	3,900	-0.5%	7,600	-1.1%
	営業利益 (売上高比)	-3 (-0.1%)	145 (3.7%)	141 (1.8%)	178 (4.8%)	- (+4.9P)	150 (3.8%)	3.4% (+0.1P)	330 (4.3%)	133.1% (+2.5P)
その他	売上高	4,781	5,124	9,906	4,859	1.6%	5,000	-2.4%	9,900	-0.1%
	営業利益 (売上高比)	179 (3.7%)	209 (4.1%)	388 (3.9%)	262 (5.4%)	46.5% (+1.7P)	170 (3.4%)	-18.8% (-0.7P)	430 (4.3%)	10.7% (+0.4P)
連結消去	売上高	-590	-759	-1,350	-751	-	-700	-	-1,500	-
	営業利益 (売上高比)	-57 -	-84 -	-141 -	-48 -	- -	-20 -	- -	-60 -	- -
連結合計	売上高	73,345	77,766	151,111	80,217	9.4%	82,400	6.0%	162,600	7.6%
	営業利益 (売上高比)	2,983 (4.1%)	3,750 (4.8%)	6,733 (4.5%)	3,672 (4.6%)	23.1% (+0.5P)	4,050 (4.9%)	8.0% (+0.1P)	7,700 (4.7%)	14.4% (+0.2P)

1	2020年3月期 上半期業績	P.3
2	2020年3月期 通期見通し	P.14
3	財政状況及び還元方針	P.17
4	次期中期計画に向けて事業の方向性	P.20

キャッシュフロー及び財政状況

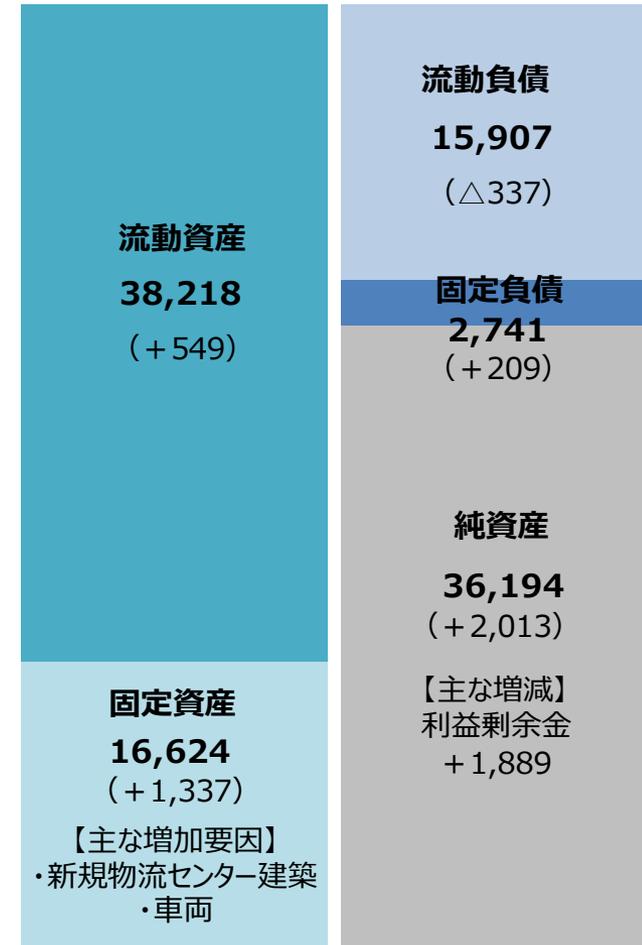
連結キャッシュフロー計算書

(単位：百万円)



連結貸借対照表

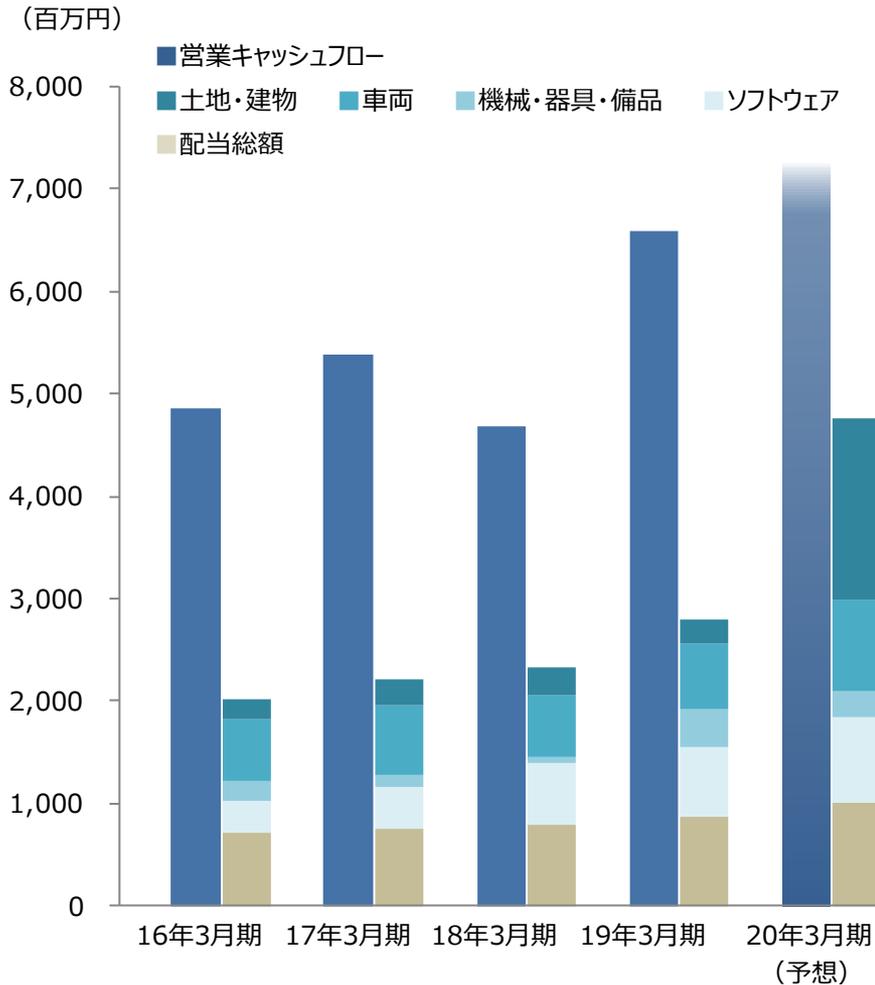
(単位：百万円)



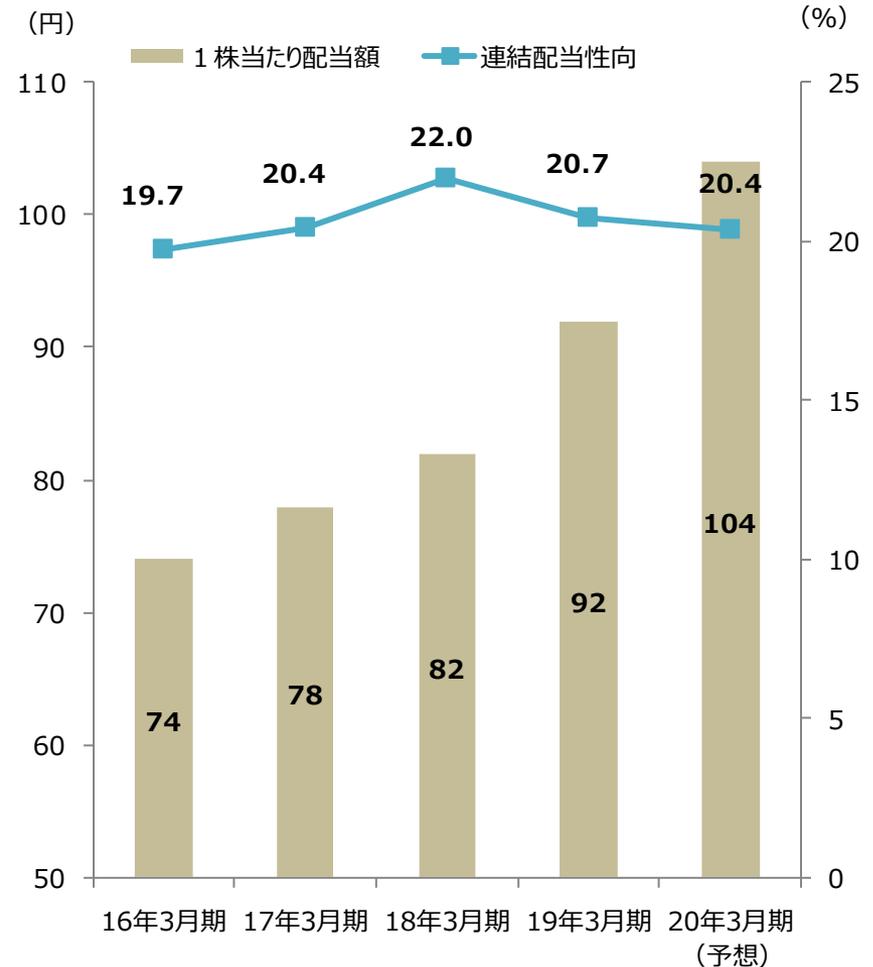
2020年3月期投資・還元方針



営業キャッシュフローおよび設備投資・配当総額



配当金の推移

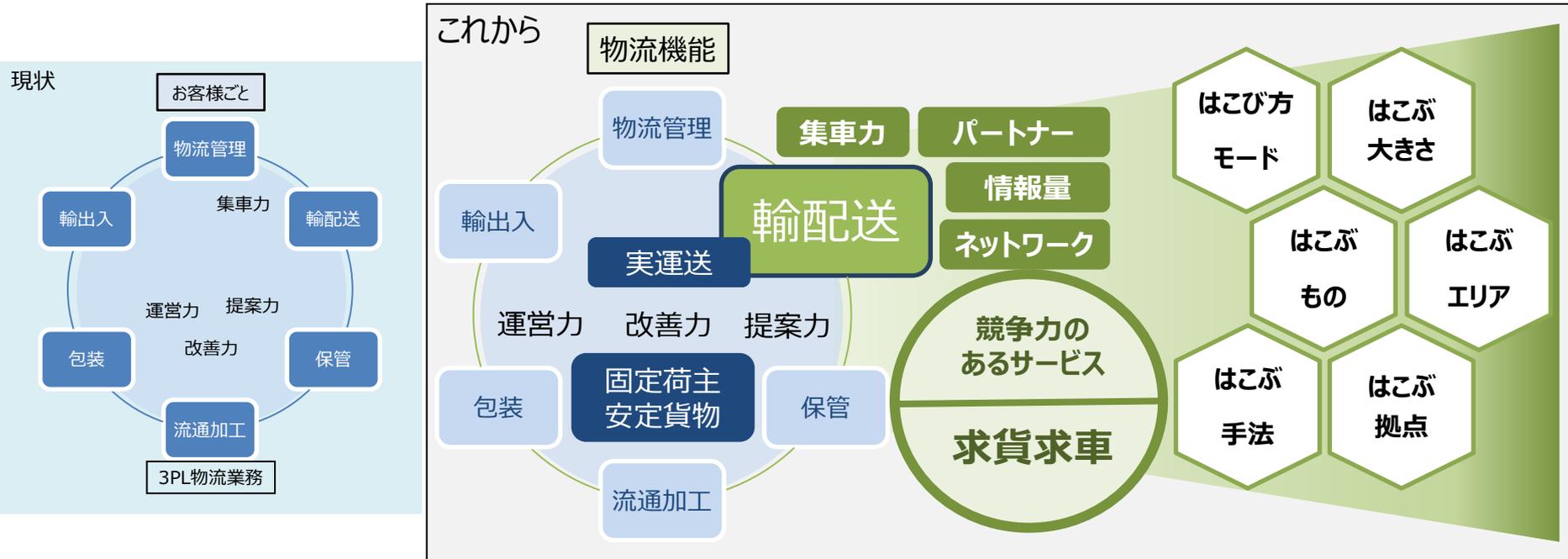


1	2020年3月期 上半期業績	P.3
2	2020年3月期 通期見通し	P.14
3	財政状況及び還元方針	P.17
4	次期中期計画に向けて事業の方向性	P.20

〈TRANCOMグループが目指すもの、ありたい姿〉

**TRANCOMならではの輸配送の仕組みを創り、提供する会社になる
生活・社会の質の向上につながる、物流の抜本的改革の実現**

「変化に対応する」をモットーに、むづかしい輸配送において世の中にない独自の輸配送の仕組みを創りあげ、そしてこの仕組みを使ってもらう



物流を取り巻く厳しい環境

深刻化する人手不足

「貨物が運べない」時代へ

物流コスト上昇

物流は優位に

コンプライアンス強化

無理は要求できない

荷主・顧客	パートナー
運賃単価適正化	ドライバー不足の解消
積載効率の向上	負荷のない貨物提供
運べないリスクの解消	労働時間・賃金の適正化
パレット課題の解決	パレットの管理工数減・紛失コスト減
小口化による輸送力確保	中ロット貨物提供による運収維持

物流情報サービス事業の現状とこれから

売上高 推移



情報量とネットワーク

空車情報数

約 10,500 件/日

※数値は、2018年度

貨物情報数

約 9,800 件/日

成約件数

約 6,000 件/日 約 1,350,000 件/年

手配車両構成 (2018年度実績 135万件内訳)

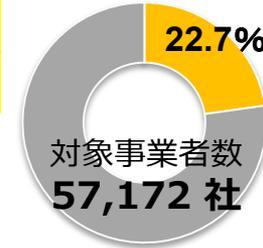
大型ウイング車	55%
4tウイング車	33%
4t平ボディ車	7%
大型平ボディ車	5%

パートナー企業

約 13,000 社

<貨物自動車運送事業社数>

業種	取引者数
特積	291
一般	56,881
霊柩	4,673
特定	431
計	62,276



出典：国土交通省HP

扱い商材例

- 日用雑貨
- アパレル
- 食品
- 化学品
- 医薬品
- 飲料
- 自動車部品
- 精密機器
- 建材
- 印刷物
- 家具

優位性

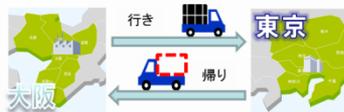
アジャスター (営業スタッフ) の「人」を介したきめ細やかなサービス



約 650 名

人

圧倒的な車両情報数



日当たり車輛情報数

- ・スポット車輛 8,900 台
- ・専属車輛 1,600 台

輸送力

マッチングの精度・スピードを高める独自システム

COMPASS

STRONG

みんなのコンパス

TRANCOM

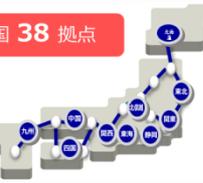
システム

ネットワーク

全国の発着に対応する情報センターを配置

全国 38 拠点

- ・チャーター：30 拠点
- ・中ロット：3 拠点
- ・ドレージ：2 拠点
- ・倉庫マッチング：3 拠点



専属車両数

約 1,600 台/日

営業スタッフ

約 650 名

拠点数

38 拠点



Q 物流情報サービス事業 は・・・

過去
一般的認識

実際に見たこともないトラック、会ったこともない乗務員と見たこともない荷物を手配するなんて、配車ではない・・・

現在

各人が丁寧且つ顧客に合わせた対応を徹底し、オペレーションノウハウが徐々に蓄積、加えて大量の取引履歴データが集まりマッチング精度が向上、一定以上の品質を実現

「量をこなして質へ」のプロセス

Q 人かテクノロジーか・・・

A 情報を「規格化」、「標準化」できない

荷姿、荷締め方法、荷締めツールの数量、積み下ろし現場のルール、時間の変更、積み下ろし現場の変更、積載量の変更、車輛故障、日々発生する情報伝達ミス・・・

人間の方が柔軟に対応できる、システム化が難しい

A B to B領域ではリアルなセールスが必須

担当の異動、取引先の方針転換、意思決定のロジックの変化、社内政治や思惑が絡む・・・

結果として定期的なフォローが必要であり、電話や対面営業を駆使しなければならない

人的オペレーションを軸に展開

Q アジャスターの機能は・・・

サービスは無形であり、生産と同時に消費されるため在庫できない。
また、求貨求車情報同様、規格化・標準化が難しい側面があるが、
基本行動・対応の標準化と、各アジャスターの個性を両立するという、
一見矛盾するようなオペレーションを今後も追及する。



「TRANCOMへ情報を寄せたくなるように仕掛ける力」が我々の強み。
専門家集団だから強い訳では無い。
また**個性を承認することで各自の工夫を促進**させていく

顧客と直に接するコンタクト・ポイントとして、ますます重要

今後も、サービスレベルの向上、たゆまぬ顧客へのコンタクトを徹底継続すると同時に、
デジタル領域へのアンテナを張り巡らしながら、事業・オペレーションのデジタル化を模索していく

中継輸送ネットワークの構築

背景 長距離輸送プレイヤーの減少...

目的・取り組み

各地に中継拠点を設け600km以上の
長距離の輸送力を確保する

例 東海 ⇄ 九州

愛知（名古屋市）

▼ 380km (6h)

広島（福山市）

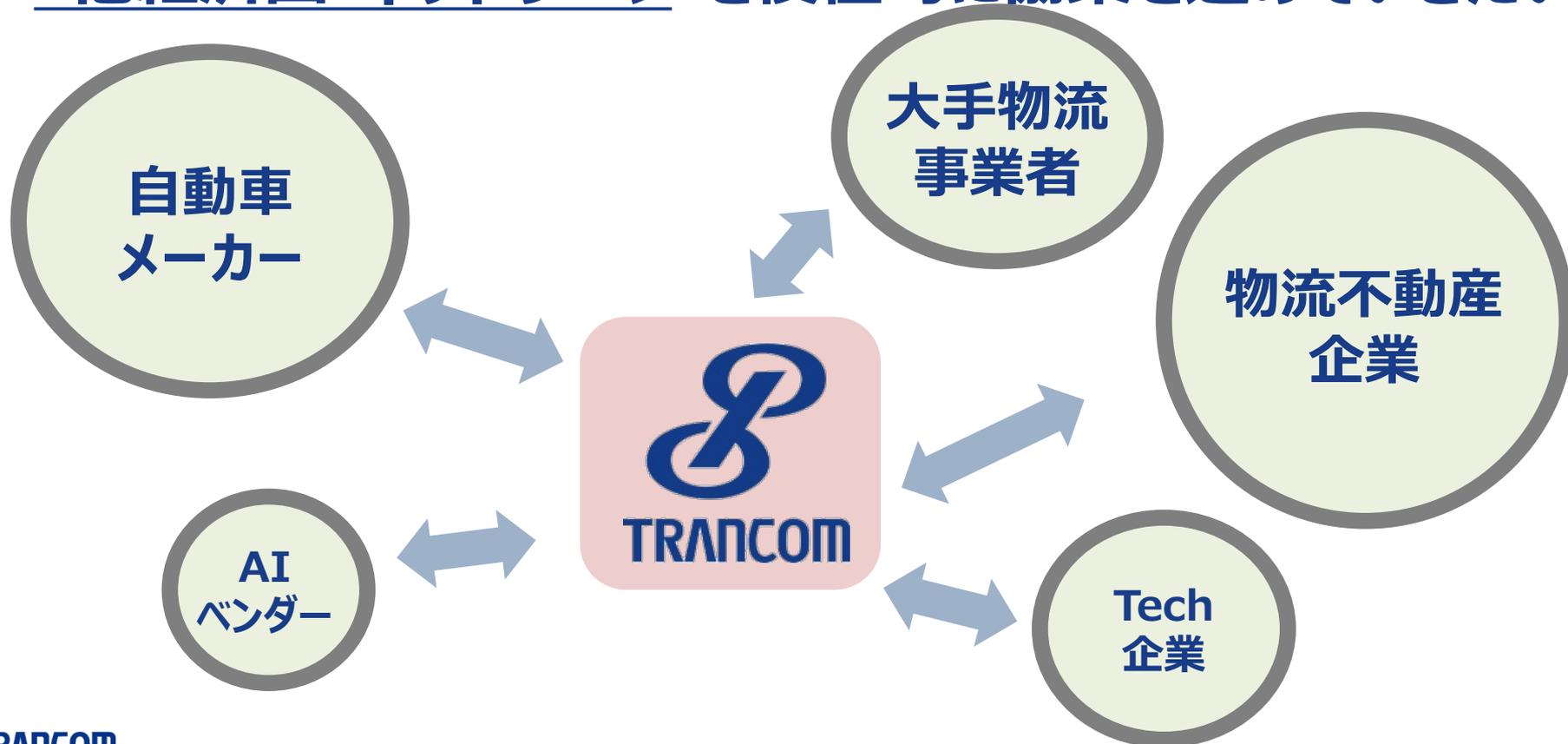
▼ 380km (6h)

福岡（福岡市）



輸送マッチング領域でのプラットフォームを目指す

- 必ずしも単独の事業展開にこだわるわけではない
- “他経済圏・ネットワーク”と積極的に協業を進めていきたい



本資料及び I R 関係のお問い合わせにつきましては、
下記までお願いいたします。

TRANCOM株式会社
YOUR LOGISTICS COLLABORATOR

MA I L : ir_info@trancom.co.jp
TEL.052-939-2011 FAX.052-939-2015
www.trancom.co.jp



とらびし
輸送 マッチングサービス

経営企画グループ

T E L : 052-939-2023 F A X : 052-939-2015

※ 本資料には、作成時点における情報を基に予測した事業の将来見通しなどが含まれております。
将来における変動要素やリスク要因などにより、異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。